

- Apple iPad
- iMovie（動画編集アプリ）
- Cisco Webex Meetings

## &lt;単元名&gt;

## みんなでつかう まちのしせつ

## ねらい

- ・図書館の見学で気付いたことや考えたこと（図書館の設備や支えている人の工夫、施設のよさ）を動画にまとめ、郡内小学校2年生に発信し、図書館の魅力等を説明したり、相手からの質問に的確に答えたりすることができる。

## 主なICTの活用方法

- ・見学した図書館の特徴やよさを撮影し、それをiMovieで編集した作品を他校の仲間を紹介する
- ・Webexを用いて、動画を共有したり、発表動画の感想を聞いたりして、郡内小学校2年生と交流する。

## ICTを通じて育成する資質・能力

- ・見学を通して気付いたり、考えたりした図書館の魅力等を整理し、表現することができる。
- ・整理したり、郡内の2年生に伝えたりする活動を通して、見学した図書館の魅力やそこでの人々の働きを再確認し、気付きの質を高めることができる。
- ・ICTを活用し、交流する活動を位置付けることで、学習意欲を一層高めることができる。

## 実践の概要

本時は「みんなでつかう まちのしせつ」のまとめとして位置付けている。

町内の図書館の見学を通して、気付いたり、発見したりしたことを基に、仲間と交流し、図書館の特徴やよさ等について表現する活動を進めた。また、自分がまとめた図書館の魅力等を発信する活動を単元末に位置付け、児童一人一人が動画作成アプリ「iMovie」を用いて、事前に撮影した写真を配置し、それに見出しを付けたり、音声を吹き込んだりして、自分なりに表現したいことをまとめるようにした。作成した動画を仲間同士で交流したり、保護者に見せてコメントをもらったりしている。アドバイスを基に繰り返し、修正を加える児童も多くみられた。

本時では、郡内小学校2年生とリモート回線を通じて、作成した動画を発表した。動画を示すだけでなく、自分が気付いた魅力を具体的に説明したり、郡内2年生から受けた質問に答えたりした。郡内小学校2年生は、交流後に「みんなでつかう まちのしせつ」を扱うため、今後の活動を見通せる機会としている。

## 児童の学びの様子

- 前時までの学習活動では、図書館探検を通して気付いたことを、写真の選択や見出しの言葉及び説明のアフレコの吟味を行うことを通して、気付きの質を高めることができていた。当日は、補足説明することで、新たな気付きを得ることができ、地元の図書館への愛着を強めることもできた。
- 郡内の2年生と交流する活動を位置付けたことで、既習内容や生活経験を振り返り、郡内の2年生から受けた質問に対して、思考し表現することができた。自分では答えられない質問内容についても、仲間同士交流し、回答することができた。



## 指導のポイント

- 自分が伝えたいことを表現するために、撮影した写真の中から必要なものを選択したり、順番を考えたりする活動を位置付けることは、気付きの質を高めるうえで有効な指導である。
- 保護者や郡内の同学年と交流し、自分の考えを伝えたり、相手の質問に答えたりすることで、思考が深まり、自己の成長への気付きを促すことが期待できる。